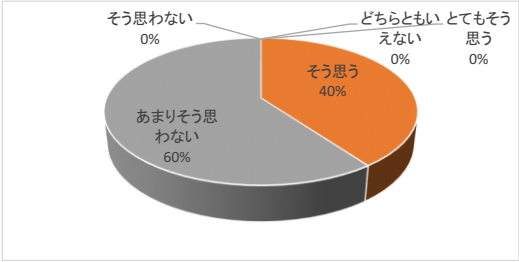


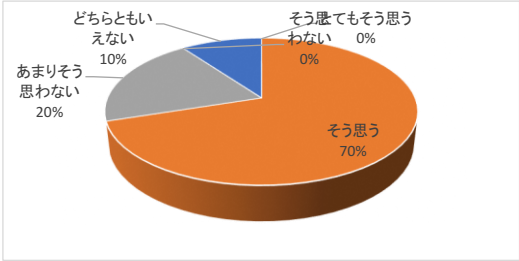
Q. 日々の授業をとおして、以前より自信を持って英語を指導できるようになったと感じますか？

とてもそう思う	0
そう思う	4
あまりそう思わない	6
そう思わない	0
どちらともいえない	0



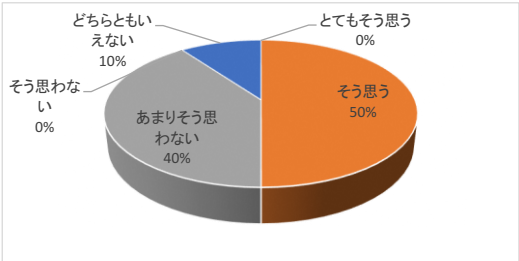
Q. 外国語指導助手(ALT)や専科教員と、打ち合わせを含め効果的なチームティーチング(TT)が展開できたと感じますか？

とてもそう思う	0
そう思う	7
あまりそう思わない	2
そう思わない	0
どちらともいえない	1



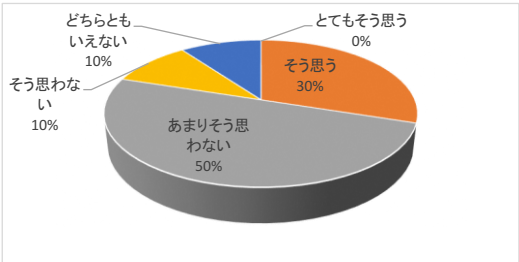
Q. 児童の外国語学習に対する肯定的な態度の向上を感じられましたか？

とてもそう思う	0
そう思う	5
あまりそう思わない	4
そう思わない	0
どちらともいえない	1



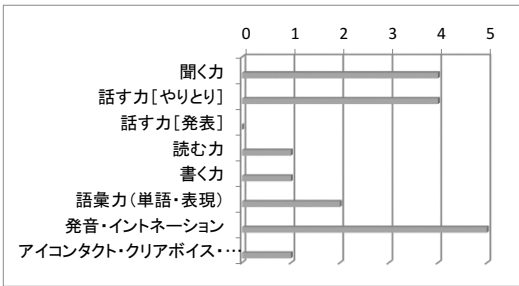
Q. 児童の中学校の英語学習に対する不安は軽減されたと感じますか？

とてもそう思う	0
そう思う	3
あまりそう思わない	5
そう思わない	1
どちらともいえない	1



Q. 児童のコミュニケーション能力の中で、向上したと感じる知識・技能は何ですか？

聞く力	4
話す力[やりとり]	4
話す力[発表]	0
読む力	1
書く力	1
語彙力(単語・表現)	2
発音・イントネーション	5
アイコンタクト・クリアボイス・ジェスチャー等	1



Q. 教育課程特例校の実施に関して、ご意見やご感想があれば、ご記入ください。

英語専科の配置を希望します。

低学年の外国語科活動において、通知表にも所見を書くことになりましたが、様々な点から疑問をいただいています。低学年も教科として実施を位置付けているのであれば成績をつける、そのためのワークテスト、評価方法も市で用意していただきたいです。

低学年はメロラーニングと略案しか用意されていないため、市独自の低学年用の教科書や、それに準じるものを用意していただきたいです。または中高学年のLet's tryのような、デジタル教科書に近いものがあるとよいです。現場の実情としては、資料もメロラーニングの単語練習と、略案、フラッシュカードのみであり、英語の歌などは各自で調べて取り組んだり、他の資料を用意したりと、担任や学年の裁量によるところが大きいです。

現場に大きく投げているような現状で、また新たに所見も書くようにするような状況では、職員の負担が大きく、それにより他の教育活動にも望ましくない方向に響いていると感じます。

現状をふまえ、市の外国語教育の在り方について検討・改善を希望いたします。

ALTが主導で実施する方が学びになるように思います。

低学年にALTの配置がもう少しあるとよいと思いました。ALTがきてくれると児童の活動がものすごく充実するので